

台湾研修旅行を終えて

2年9組 高橋優花 (福大附属中出身)

私たちは11月4日から4泊5日で台湾研修旅行に行きました。前日までは不安と緊張で一杯でしたが、今となってはとても価値のある研修旅行になりました。

2日目の学校交流では、至善高級中学で授業体験などを通して高校生との交流ができました。1対1の交流の際、英語が苦手な私は相手の高校生になかなか自分の思いを伝えられず苦労しました。改めて共通語である英語の大切さを実感する機会となりました。

3日目は台湾の歴史を学ぶ1日となりました。どの見学地も歴史ある建物ばかりで、日本との違いも沢山見つけられました。私が特に興味深かったのは故宮博物院です。そこは世界4大博物館の一つで中国歴代王朝のコレクションが数多くあり、その中でも“翡翠でできた白菜”がとても綺麗でした。夜は士林夜市に行きました。日本では見たことない数の屋台が並び、どの屋台も賑わっていて台湾の雰囲気を感じ取ることができました。

4日目はクラス別研修とB&Sでした。クラス別研修ではクラス毎に小籠包作り、パイナップルケーキ作りやエビ釣り等を体験し、現地の方々の優しさのお陰で満足のいく体験となりました。B&Sとは、私たちの一つ班(5人程度)を現地の大学生が担当し、台北市内を班ごとに散策する活動です。大学生は流暢な日本語でお勧めの場所を親切、丁寧に案内してくれました。

私はこの研修旅行を通して様々なことを学びました。改めて送り出してくれた両親や携わってくれた全ての方々へ感謝します。この経験を残りの学校生活にも生かし、もっと高みを目指したいと思います。そして、いつかまた台湾を訪れてみたいです。



マレーシア研修旅行を終えて

2年5組 梅津晴翔 (吾妻中出身)

私たちは今回、文理の1期生として初めてマレーシアに研修旅行に行きました。最初マレーシアと聞いて、「マレーシアって何があるんだろう?」とあまりピンと来なかったのが正直な気持ちです。ですが、行く前の事前学習、現地に行って帰ってきてマレーシアは観光名所も多く、とても住みやすいという気持ちに変わり、印象がガラリと変わりました。マレーシア初日の学校交流では、現地の14歳と交流しました。最初は上手く話をする事が出来ませんでした。だんだん話せるようになってきて、お昼ご飯の時はとても楽しいくらい仲良くなる事が出来ました。改めて自分の英語力がないことを痛感し、これから学習をすることへの弾みになりました。B&Sでは、クアラルンプールの街を散策しました。現地の大学生はとても優しく接してくれて、場所の説明もしてくれてとても楽しかったです。みんなでスムージーを飲んだり、写真を撮ったりしてとても充実しました。マレーシア2日目のカンポンビジットでは、実際に家庭に訪問しました。ビー玉のゲームをして遊んだりしました。マレーシアはとても暑いので家の中も暑いのかと思っていましたが、思ったよりも涼しくてビックリしました。お昼のカレーもとても美味しく、現地のご飯にすっかりハマってしまいました。午後はバトゥ洞窟に行きました。ヒンドゥー教の聖地の洞窟と言うことで、洞窟内に寺院が建立されていて、彫像が祀られていました。このバトゥ洞窟では、ヒンドゥー教の神聖な儀式「タイプーサム」というとても有名な儀式が行われることも知りました。マレーシア最終日はピンクモスクとマラッカに行きました。ピンクモスクではイスラムの宗教が主流ということで、女性はアバヤみたいなものを羽織り、肌の露出を防ぐ取り組みをしていました。1日に3回しか見学できず、その他はお祈りの時間になるとガイドの人が言っていました。次に古都マラッカに行きました。16世紀のオランダ、17世紀のポルトガル、18世紀のイギリス植民地時代の影響を今もなお残す街並みや、オランダ広場の可愛いピンク色の建物がたくさんあって、マレーシアではない感覚を味わえました。見学途中、マレーシアの国鳥にも出会える事が出来ました。今回の旅を終えて、初心にかえる事が出来たと思います。マレーシアの交通機関の利用マナー、人に挨拶すること、トゥリマカシ(ありがとう)を伝えること、朝食の時間に遅れない、これらの他にももっとたくさんあります。これらは当たり前のことですが、当たり前のことをいかに当たり前にするか、このことが今回の旅を終えて改めて感じる事が出来ました。これから私たちは来年の大学共通テストに向けて勉強していきます。予習復習、授業を真面目に聞く、これらの当たり前をいかに当たり前にするかが勝負のカギだということを念頭にもってこれからの学校生活を頑張っていこうと思いました。

カナダ研修旅行を終えて

2年2組 中村 綾(田島中出身)

私たち特進コースは、5泊7日でカナダ研修旅行に参加しました。8時間以上飛行機に揺られて、行ったことのないカナダに着いたのですが、到着直後はあまり実感が湧きませんでした。しかし、その後の移動中に日本と全く違う外の景色を見てだんだんと実感が湧き始めました。

私が一番印象に残ったのは、現地の高校生と交流したことです。研修2日目に私たちはセントパトリック高校を訪れました。そこでバディを組んで学校や授業見学をしました。バディたちが話す英語のスピードはとても速くて、最初は聞き取るのに苦労しました。しかし、バディたちは気さくに話しかけてくれたり、私たちの話す英語を真剣に聞いてくれたりするなど、とても良かったです。本場の英語を身をもって感じられた貴重な体験ができ、さらに英語力を向上させたいと思いました。

ホームステイには不安と緊張がありました。しかし、実際にホストファミリーに会ってみると、私の不安や緊張は嘘のようになくなりました。ホームステイの体験で私はカナダの方々の温かい心に触れることができました。

人生初挑戦のカーリングでは、見た目の何倍も難しく、氷を擦る動作もとてもハードで、翌日には筋肉痛になるほどでした。でも、みんなで楽しくプレーできたので良かったです。

私が約1週間のカナダ研修旅行を終えて感じたことは、言葉がうまく伝わらなくても、自分が言いたい事をとにかく伝えようとする姿勢が最も大切だということです。コミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢を大事にして今後の英語学習にさらに力を入れようと思います。今回のカナダ研修旅行は、とっても良い経験となりました。この経験を無駄にせず、今後の自分の将来に生かしていきたいです。



<当面の日程>

- 11月30日(土)AM 個別相談会
- 12月3日(火)~6日(金) 2学期 期末考査
- 12月7日(土) GTEC(検定)
- 12月14日(土) 入試トライアル
- 12月20日(金) 2学期 終業日 保護者会



ベトナム・カンボジア研修旅行を終えて

2年1組 鈴木萌花(福島成蹊中出身)

今回のベトナム・カンボジア研修旅行は私の人生の中で大変貴重なものとなりました。

まず、カンボジアに着いた時に日本との気温の差を感じました。今の季節では考えられない程の暖かさでした。また、カンボジアでは遺跡の見学がメインでした。アンコール・ワットは、想像していた以上に大きく、中も巧みに造られていました。壁や柱の一つひとつに模様が細かく彫刻されており、その壮大さに驚きました。他にも、アンコール・トムやタプロール遺跡に行きました。また、アポポビジターセンターで地雷について学びました。そこで、何も関係のない小さな子どもたちが被害にあっていたことを聞き、胸が苦しくなりました。ガイドの方も涙を流して、それを見たらさらに心が苦しくなり私ももらい泣きそうでした。

ベトナムでは、ベトナム戦争について学びました。クチという街に行って、クチトンネルに実際に入っていました。クチトンネルとは戦時中に掘られたトンネルです。成人男性がかがんでやっと入れる位の大きさしかありませんでした。また、落とし穴や武器には様々な工夫がされていました。当時のベトナムの人たちの体力、勝つため、生き残るための知恵をうかがい知ることができました。戦争証跡博物館では、戦争中の武器や写真があり、その中には枯葉剤の影響で肌がただれてしまった人の写真も展示してあり見るだけで息が苦しくなるほどでした。他にもメコン川に行って自然の壮大さに驚かされたり、49階の展望台からホーチミン全体の景色を見渡す体験もしました。

研修旅行を通してベトナム戦争のことはもちろん、経済面についても考える機会となりました。この1週間で感じたことを忘れずにこれから生活していきたいです。